

第35回市民ふれあいトークー地域力を活かすまちづくりー

日時 平成23年10月30日 16:00~17:30

場所 連島公民館

要約版

《市長》

皆様こんにちは。日曜日の夕方、お忙しい時間帯に連島公民館でのふれあいトーク、本当は9月の初めに企画をされておりましたけれど、台風12号がありましたので、皆様にご連絡をいたしまして延期ということでさせていただきまして、約1ヵ月後ということになりました。これから少し私の方から市政の全般的な現状でありますとか、最近起こっていること、連島地区の課題のことなどお話しまして、皆様との間で色んな意見交換をさせて頂きたいというふうに思っております。最近、嬉しいニュースが幾つかございました。つい数日前でございますけれど、ドラフトで倉敷市に縁のある選手が二人、ドラフトの方にかかったということで、一人が野村選手、この水島、連島地区の方から、小学校は南小学校だったのですかね。南小学校の方から高校は広陵に行かれて、広島の方にとということ、もう一人、倉敷三菱オーシャンズ、巨人の指名の7位にかかったということで、自工の横井所長さんにお祝いの電話をしたら、会社も本人も全然予期してなかったということで、非常に喜んでおりました。また機会がありましたら、地域の学校とかに来て頂ければと思っております。それから、11月2日から21日まで、星野監督に随分ご尽力いただきまして、5年ぶりで東北楽天イーグルスがマスカット球場でのキャンプとなっております。今、倉敷駅の前の通りを横断幕と旗に「歓迎 東北楽天ゴールデンイーグルス」とさせていただいておりますが、昨日、ヤクルトスワローズのヤクルト野球教室がありまして、その時に倉敷出身の往年の松岡選手が来ておりました。松岡選手の話では、大リーグへ行くかどうかという岩村明憲さんがキャンプに来られるようなことでしたので、結構多くの方がいらっしゃるんじゃないかと思っております。倉敷市は、非常にスポーツが盛んでございますし、昨年から今年に掛けて高橋大輔君の本当に大きな活躍がありまして、パレードなどもさせていただきました。倉敷市は非常にスポーツが盛んな街と思って、来てくださっている方が非常に多いんじゃないかと思っております。

今日は「地域力を活かすまちづくり」という大きなテーマがございますが、その前にやっぱり防災のことについて、申し上げたいと思います。

9月の3日から4日にかけての台風12号で、本当に地区の中で床下、床上浸水されました皆さんに本当にお見舞いを申し上げたいと思います。市の全体でも床上が430、そして床下が3,800ということで、平成16年の時以来の大きな災害となりました。マップが少し小さくなっておりまして申し訳ないんですけども、今、連島中学校がここですので、公民館がここになっておりますが、ここがJFEさんの所で、こちらが汐入川の遊水池の所でございます。それで、この色が付いておりますマップは何かと言いますと、今回浸水したところではないんです。これは倉敷市が今各世帯にお配りしておりますのは、洪水が起こった時の浸水がどの位するかどうか、高梁川の堤防が切れるような物凄い地震があっても大丈夫にはなってますけど、計算しましたら、敷地の標高のことについて、やはりこの汐入川がありますので、浸水をしやすい地域ということで、この図が出ております。それで、水島地区は全体として、標高が非常に低い訳ですけども、中でも、汐入川の水系である亀島の地区が、非常に浸水した訳でございます。

今回の台風12号ですが、全体としまして倉敷市始まって以来の雨が降ったことは確かです。倉敷の气象台が、芸文館の近くに1ヶ所だけアメダスを設けてますが、1日で183mmの雨が降りました。倉敷の气象台始まって以来の雨量だったんですが、加えて市内の消防署に、雨量計を幾つか独自に設置しております。そうしましたら、主な所、この水島、連島、それから玉島、それから児島の街中部分は大体200mm以上降っております。私もどうしてかなと思ってるんですが、何と郷内では山崩れがございまして、小学校が非常に土砂で埋もれまして、危ないと言うことになったんです。何と郷内だけ何故か413mm雨が降りまして、水島のインターの近くの辺りは、非常に山崩れ、土砂崩れとかがあった地区が多くなってました。今復旧をしておりますけれど、今回の水島、連島地区の中でも1番やはり課題だったのが、亀島地区、汐入川の所の水はけでございまして、各地区で今、色々調査をしてるんですけど、この郷内地区では、雨が物凄く多かった。倉敷の街中の方、市役所の近く、健康福祉プラザの辺りもかなり浸かりまして、丸一日ぐらい浸かりました。何故かと言いますと、吉岡川、倉敷川の方から、児島湖の方に出る児島湖の水門の上げ下げは勿論県が一生懸命してくださったんですが、タイの方でも非常に洪水が出ておりますように、この時期に水位が全世界的に上がっているということでございまして、水がはけなかったということが非常に大きな課題になりました。倉敷地区の方では、児島湖の水門の方から、今上げ下げだけですけれど、強制的に水を外に出せるように、国、それから県にお願いをしております。

玉島でも、同じ様に今回は高潮の被害は無かったんですけど、水が上の方から沢山来て、溜川の、県の排水ポンプが故障中だったので、今直してござっておりますが、それなどによっても浸水が起きました。この連島地区の浸水については、ポンプの水量が雨の量と比べて、足りなかったということが原因と分析をしております。この汐入川のポンプは今造っている最中でございまして、あと5年、10年前に出来ておれば、今回の浸水が無かったのではないかなと思うんですが、やっと平成21年に倉敷市と県の方で、何とか事業を前に進めよう。ここは県と倉敷市がどっちが持つかということで、非常に時間がかかったわけですが、もうそんなこと言っている場合じゃないということで、私が市長になって最初の大きな仕事でもあったんですが、とにかく県と市との間でこれをしまして、半分ずつお金を出しました。勿論国の方からも補助金を貰ってきました。また、半分ずつお金を出して造る代わりに、県は出来たら管理を倉敷市の方にして貰いたい。やっぱり管理はお金がかかりますので。そういうことがあり、市でも随分考えたんですけど、前に進めないといけないということで決めました。今回間に合わなくて大変申し訳なかったんですけど、今毎秒20トンの排水ポンプが約1.5倍になる予定でございまして。

もう一つ大きいのは、遊水池の浚渫、底上げを今やることになってます。非常に皆さんの方からお話を頂いて、臭いだったり、泥が溜まっていたりと、課題になってたんですが、ご存知のように玉島との間に橋が架かるんですが国の事業も活かしまして、遊水池の浚渫をやろうと思っております。それが出来てきましたら、今回のようなときにも水路と同じですけども、ここの水を先に出しておいて、それで雨が降った時に、ここはかなり貯めるといいますか、本当は遊水池なんですけれども、今までなかなか機能してなかったんですが、今度こそ、遊水池の機能を果たしてもらえようということで、今やっております。この橋が架かるのと併せてポンプの設置、池の浚渫と併せて、今の見当では27年度

までには工事が進むようにということでやっております。やはり大きい物なので、なかなか2, 3年では出来ないので、申し訳ないですが。それと、もう1つの心配ですが、国から言われておりますのは、東日本の方に優先的にお金を配分しないといけないということなどもありますので、この橋もそうですけれども、進捗が遅れるということは正式に言って来てないんですが、そういう心配をちょっとしているというのが現状でございます。遅れると言っても、何年も遅れるということはないと思っておりますが、影響が全国的にあるかもしれないということです。とにかく、この遊水池の所の浚渫、排水機能を何とかすれば、この一帯の、水はけが良くなると思っております。今回間に合わなくて、大変申し訳なかったんですけど、今のところ計画的に、ここ数年進めておりますので、ご協力を頂ければと思っております。

こちらの地域におきましても、連島、水島、松江、広江もそうですけれども、災害が起こった時に、逃げる場所がやっぱり標高が低いということがありますので、1つにはこの3月に芸科大さんの方と広域の避難場所の協定を結びました。勿論近くの高い建物があれば、そこに逃げるのがいいんですけど、多くの方が逃げて頂ける場所ということで、芸科大さんの方の山の所、新しくJFEさんの広江のグラウンドを貸して頂けることになりまして、こちらの方にも逃げて頂けることになりました。勿論亀島があるわけですが、ここに長期的に逃げておられますと、周りが浸水をしてずっと孤立したら困りますので。ただ切羽詰った時には、ここに逃げないといけないんですけども、なるべく周りの高い山に逃げていただければと思っております。これは水島・連島地区だけではなく、玉島も作陽大学さんが大きく貸して下さるようになり、倉敷も松島の川崎大学さんが大きく貸して下さることになり、天城の岡山学院大学さんも貸して下さることになりまして、まずは大きな土地を持っていらっしゃる大学と協定を3月に結んだわけでございます。その後は、JFEさんとか、大きな土地を持っていらっしゃる企業さんの方にお問い合わせして行こうかなと思っております。

今回の東日本大震災のような大きな災害が起こりましたら、国の計算で元々倉敷に来ておりますのが、地震が起こると、約2時間半後に3mの津波が倉敷市の沿岸部に押し寄せると言われております。今回、国が計算をし直して、東南海、南海と東海がもし3つ起こった時には、3mが約3.6m位になるんじゃないかと言われております。倍もならないんで、ちょっと安心したんですが、やはり水の高さも上がりますので、その観点で今回見直しをしたということになっております。今回それぞれの排水路、排水ポンプ場を、全力で管理をして下さったり、水門も管理して下さったんですけど、流入する水の量が多かったというのが1番大きなことで、非常に難しい状況になったんですが、なるべく核となる施設、排水機場の増強なども含めまして、しっかりやっていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

もう1つ、11月号の広報紙が大体来たでしょうか。これだけでは判り難いんですが、これに今度開きます倉敷みらい公園のこと、それから駅の北の施設、商業施設のことについて記載しましたので、少しお話をさせて頂きたいと思っております。今、出ておりました絵がこの倉敷みらい公園の所です。ここが倉敷駅になっておりまして、こっちがヨーカドーさんが入られまして、三井のアウトレットパークがこちらの方に入られます。それで市といたしまして、用水路を含めまして約2ヘクタールに、みらい公園として設置をすることになりました。今、ほとんど出来つつあるんですが、ここの1往復、片方が300mで往復

600m、それから周りの所をこれまでチボリ公園の周りが車道の所と、歩道の所とそれぞれ歩道が有ったり無かったりしておりましたので、事業者の方にちょっと協力を言わせて、1周歩いても頂ける様な所を造りまして、約合計で2kmぐらいの散歩もして頂ける様なコースということで造っております。それで皆さん大変、私どももそうですけど、倉敷の駅周辺の交通渋滞がどうなるかということで、ご心配の方もいらっしゃると思います。今、こちらの寿町の踏み切りの所で、駅の東の所の工事をしておりまして、踏切を今11mから17.5m位に広げております。そこからこの旧2号の駅前の道に真っ直ぐ来る道を駅の東の所有者の皆さんにご協力をいただきまして、真っ直ぐ行ける様な道を造っております。それから旧2号の駅前の道も2車線から、4車線の部分を増やしております。それと、この渋滞について、例えばこの駐車場の面ですけれども、この中に2600台の駐車場をとって頂けることになっておりまして、県の駐車場だった部分が700台、こちらの駅の方のマツダパーキングさんが300台あり、それからJRさんの駐車場が150台位ありまして、大体この地域で3500台位の駐車を確保するというようにしています。ただ、これとこちらの方にイオンが増床されておりますので、非常に全体として、混むということになるのを何とか避ける為に、今、警察の方から指導してもらっておりますのが、倉敷市外から来られる方の場合に、岡山の方から来られる方は早島のインターで降りていただくような誘導をするようにと事業者の方に言っております。それから玉島、西から来られる方は、玉島で降りて頂くように、勿論倉敷で降りられる方もいらっしゃるわけですけれども、その後の誘導を倉敷市が今、外環で道をここ数年、結構集中的に造ってきたんですけど、1つには倉敷インターの所から来まして、中庄団地の前に生坂一二日市線というアンダーの道がこの7月に新たに出来てございます。そこを通じて倉敷の南側の方に来て貰うという分、それからこちらのバイパスの道を4車線に、まだ橋はなってないんですけど、これは国の方でしていただきました。それから今、申し上げました中庄団地の方は市の道路です。それともうひとつこちらの方のイオンさんの前の道が、西阿知の方まで真っ直ぐ行ける道がもう直ぐ開通することになっております。そうやってなるべく倉敷市内の周りの外環状の道路を整備をしまして、この倉敷インターからの道に集中しないようにということで、今、大きなまちづくりの道をこの倉敷の駅の周辺でやっている所でございます。

県の道路ですが、岡山市が政令指定都市になりましてから、県は倉敷市の方にある程度目を向けてきて下さっているように思うんです。駅の高架の話は別なんですけれどもね。私は駅の高架の話は、絶対倉敷市の町には必要だと思うんですけども、ただ、これは非常にお金がかかるので、県は、まずはそれ以外の部分からお金をつけて倉敷市の為に役立っているという思いを持っていらっしゃるようで、外環状線だったり、それから、さっき言いましたこちらのイオンの西阿知に抜ける道は県の道でございます。そういうもの等、それから、各所の道の舗装のし直し等、バリアフリーの工事など、最近結構積極的にやっただけかと思えます。まずは県との間で、しっかり進めていきたいと思っております。県にお金を出して貰わないといけない大きなものが、この駅と最初に申し上げた遊水池のポンプです。この二つは絶対にやってもらわないといけないと思っておりますので、皆さんも知事に会われることがございましたら、言っていただければ。私ひとりでも威力が少なかったら困りますので、地域の住民の皆さんからもお願いしたいと思います。

最後にさっき申し上げました倉敷みらい公園の様子だけ申し上げたいんですが、倉敷市

が新しく整備するものについては、旧水島サロンの環境交流スクエアも、芝生の部分を随分増やしておりますが、倉敷の新しい公園についても、芝生の部分を、災害に備えてマンホールトイレとかを随分設置しております。災害になった時にかまどの炊き出しが出来るようなベンチとか、市の花である藤、LEDの照明、それから用水の水の一部を相談して引かせて頂くことになったんですが、子どもさんが水に親しめるような場所とか、クラブウさんの時の木を約350本残しまして、自然のものをかなり残した公園ということにいたしております。県外から1年間に約800万人の方がいらっしゃると、商業施設の方が言われておまして、施設の中で倉敷市の観光案内をかなりしていただけるようお願いをしております。美観地区をはじめとして、連島、薄田泣菫さんの所にも来て貰いたいと、また玉島とか児島のジーンズの方とかにも是非来て頂きたいと思っております。

ここは市の公園ですので、まだ考えてるんですが、イトーヨーカドーさんとかには、なるべく地産地消のものを採り上げていただけるようにということで、連島のレンコンやゴボウも置いてもらいたいということを言ってるんですが、プラスで、ここは市の公園なので、地産地消の行事をやっていけたらと思っております。倉敷かさや農協の方もいらっしゃってるみたいですので、ご協力を頂きたいと思っております。私は、倉敷に人がいらっしゃる時に、商業施設で勿論買い物をされるのはそうなんですけど、倉敷市は文化と農業が非常に盛んなまちだということを、知ってもらいたいと思っております。倉敷市の宣伝をする時に、必ず文化と農業、コンビナートの産業のことも申しますし、児島のジーンズのことなども言いますけれども、判り易い様に多くの人に知って頂けるように、まちづくりの全般的なイメージを高めていくという、そういう考えをもっております。今日、「地域力を活かすまちづくり」ということで、是非とも、農業関係の皆さんも沢山いらっしゃっていると思いますし、産業の関係の方もいらっしゃっていると思います。連島地区の農業をはじめ、産業やまちづくりのことについて、皆さんのお考えやご質問、ご意見を教えて頂ければ有り難いと思っておりますので、よろしくお願ひします。

《参加者Aさん》

矢柄の宝ヶ丘町内に住んでおりますAといいます。私が今日お聞きしたいのは、倉敷市の地域社会ボランティア、通称アダプトプログラム、市民活動団体の表彰制度についてお聞きしたいと思うんですけど、市の方に宝ヶ丘ふれあいボランティア団体という名称で登録をしております。私どもの基本テーマとして、自分たちの地域は自分たちの手でやれるところはやっていこうと、こういった信念の元に進めております。現在9年間活動を展開して、発足した時11名だったんですが、現在19名のメンバーが結集してます。活動範囲は、公共スペースの環境美化を中心に、その中には街路樹が約30本あるんですけど手入れもさせて頂いております。活動頻度は、1年間に大体8回ぐらい。メンバーの年齢は、平均年齢が73歳です。最高齢者で85歳、若い人で65歳。中には歳がたって、実務作業が出来ないということで、私どもの団体から脱退させてくれとこんな声もあるわけです。まあ、それはそれとして聞いていて、必ずその人の補充をしていくという取り組みを進めておる関係で、現在19名に繋がっていると思うんです。

それから、台風12号の関係で、この地域も床下・床上浸水を受けたんですが、郷内地区がひどかったので、私どものメンバーから5名の皆さんで軽トラックを1台持ち込んで、

郷内の方にボランティア活動をしてまいりました。活動を通じて感じたことを申し上げておきたいんですが、近年、なかなか町内の皆さんが一堂に集まることは少ないわけです。私ども19名が、町内をベースにして結集しとるわけです。そういった関係で、非常にこの活動を通じて、コミュニケーションの場にもなっているわけですね。そういった面で和気あいあいと明るい雰囲気の中で活動を進めさせて頂いております。今アダプトプログラムの規定の中で、活動実績10年という基準があるわけです、表彰制度の中に。そうしますと、中には歳がいったお手伝いできんという方もおられますし、中には亡くられる方もおられるわけですね。そういった意味でこの10年という規定を少し実情にあった形で短縮した形で表彰いただければなあと思います。私ども、表彰いただければ、後のやる気にも繋がってきますし、誇りと思う部分もあるわけですね。金銭的に紙一枚で済む訳です。そういった面でもう少しご配慮をいただければなあと思います。

《市長》

表彰制度があれば、補助金とかなくても皆さんやる気を出して色々やったださるということですね。アダプトプログラムとしまして、市内の色々な団体の皆様が活動して下さるのを、地域や内容を決め、契約とか覚書というかして、活動して下さることになっております。今10年ですかね。今活動が9年なんですか。表彰制度は10年なんですか。表彰制度が10年というふうに書いてありましたですかね。表彰制度があるというのは、確か私も覚えているんですけども、年数について明確に規定していなかったように思います。言って頂いた様に、何でも表彰が出来るかどうか判らないんですけども、やっぱり活動を続けて頂いている実態を拝見して。今までほとんど表彰というのはアダプトの制度が始まって、そんなに何十年も経ってないですので、ほとんど表彰が出来てないんじゃないかと思えます。それについて、今検討しているところでございます。アダプトプログラムという、地域の皆さんが色々自分たちでまちを守って下さっているという面でも、アダプトというのは勿論制度があるわけですけども、それ以外でも勿論活動して下さっておりますので、その活動ごとに表彰が出来るのかどうか、ちょっと判りませんが、まずはアダプトについては明確な表彰について、できるということが書いてあって、実際のところまだしてないので今、検討しております。年数については9年になるのか、10年になるのか検討させて頂きたいと思えます。有難うございます。今言って頂いた様に、市の方も全般的に予算が厳しいのは同じでございます。紙だけ出せばいいというものではないんですけど、皆さんにお願いしている所を顕彰すると言いますか、行いまして、多くの方に知って頂くということは、1つの推進力になるんじゃないかと思っておりますので、しっかり検討させていただいて、なるべく早期に答えを出したいと思えます。どうも有り難うございます。

今、地域の活動のことを言って頂きましたのですけれども、当地区におきましては、コミュニティ協議会さんの方も早くから、もう十何年位でしょうか、立ち上げていただいて活動して頂いているわけですが、市内の色々な地区での活動で、今のお話の中にもありましたけれど、地域の結束が、当地区は非常に高い地区だと勿論思っておるんですけど、なかなか町内会、コミュニティ活動がうまく出来ない、災害の時とかでも声掛けがなかなか出来ないというようなことを、よく今回の台風の時とかでも言われました。東日本の大震災でもやはり町内会組織がしっかりしている所ほど、早く声掛けの伝達がいっ

て、皆で逃げたという所も多かったということがございますので、町内会のことなどについても、これからもっと、永年勤続町内会長さんの表彰などの制度はあるんですけど、表彰だけじゃなくて、町内会の活動について皆さんと一緒にもっと盛り上げて、前に進んでいくような何か方策が無いものかと思っております。私自身も、今日、いらっしゃっている町内会長さんも多いようですけど、その辺りも教えていただけることがありましたら、お願いしたいと思います。

今ちょっと町内のことを言っていたんですが、災害のことで今回は雨が非常に降りまして、水路、それから先ほどポンプのことを申し上げたんですけども、そのことについて少しご意見というか、話がある方はいらっしゃいますか。今回だけじゃなくても大丈夫でございますが。とにかく遊水池の所のポンプを早く付けるということが、重要だと言うことでよろしいですね、皆さん。

《参加者Bさん》

具体的に3.6mと市長さんおっしゃいましたが、3.6mだったら、この連島公民館はどうなるんですか。

《市長》

連島公民館の今の所の色は、色がいっぱい書いてあるんですけども、洪水が起こって、その洪水の前提が、この地図も国の方の計算なんですけれども、物凄い洪水が起こって、堤防の各所や海からの水が入る所が切れるというようなことになった場合に、単純に標高で計算をしたのが、これになっています。そうすると、この連島公民館の所は約0.5～1m位まで水が来る、ただそれは以前の前提です。南海・東南海の2つの地震が来て、それで水が押し寄せた場合に、浸水がそのくらいまで来るといことなんですけれども、今回、国がまた計算をし直しております。計算し直した場合、これ以上になるという計算をしているんですが、前提が国の方も難しいということになっております。我々が今、計算をしておりますのは、当然のことながらこの水島の方の堤防、それから水門、それからこちらの水島サロンの所の近くにある水門なども、十分な高さを持っておりますので、普通は浸水することは無いと思っております。無いと思っておりますが、この国の色々な計算では、地震が起こってその水門が壊れたとか、堤防がそこかしこ切れたということになると、水がばーっと入って来ると。普通はこんなことにはなりませんけど、だからと言って逃げなくていいということではなくて、本当に最悪の水で切れた所から全部入って来たら、この位の水の高さになるという計算になっております。

今回も倉敷の地区もそうだったんですが、勿論亀島山とかの高さは大丈夫なんですけど、市の公共施設で、例えば市役所とか、福田公園、福田公園も標高は比較的低いわけですけども、上の方の高さは大丈夫です。それから小学校も上の方の階だったら、大丈夫なんですけれども、例えば帯江小学校、豊洲小学校の地域の皆さんは、逃げる場所というのは、あそこも平地なのでなかなか無いわけです。で、市のマップでは、岡山学院大学に逃げてくださいということなんですけど、遠いわけです。そうしたら、やっぱり地域の皆さんに伺いましたら、帯江の人は帯江の観音様にやっぱり逃げるといふうに自然と言われるわけなんです。ですので、今のところこのマップなんですけれども、宮司さんの前で恐縮

ですけど、今後、地域の昔からある高台の、今は芸科大さんとかもありますけれども、昔からある本当にそれこそ笹取さんをはじめ地域の守り神の皆さんの所が、今後公共施設ではないんですけども、このマップの中に住民の皆さんが逃げていただく方向の矢印にさせていただいたり、そういうことが今後、ちょっと必要になってくるかなあと考えておりました、宮司さん、如何でしょうか。急に言ひまして、申し訳ないんですが。

《参加者Bさん》

私が思いましたのは、この前の時にはそこが浸かるとの訳です。そこから連島中学校の所に警官が立たれて、皆動けないわけです。車を何処に置くかということ、マルナカの駐車場の高い所に上げたり公民館の所に実際に上げて、ほったらかしで皆おらんようになるわけです。実際帰ってくるとなると、昔の本当の山道じゃないですけど、旧道の道を通って帰ってくる。それしかないわけです。だから私は鶴新田の保育園の役をしておりますが、もしもの時は4歳児、5歳児はもう笹取さんに上がれと指導して、実際にやらせてみようかというふうにおっしゃりました。今市長さんがおっしゃいましたが、上がられてもかまいませんが、それに対する道ということが、皆さん方非常に大変でございますし、芸科大に上がると言ったら、ぐーっと回るわけですから、そりゃあこの辺の人は芸科大まで行け言ったら、何を言よるかという事になる。そういうふうにとったです。3.6mと言ったら、実際にはこの辺にいる人は、もう3階しかないわけです。

《市長》

そうです。2階途中ぐらいまで、本当に、一気には勿論来ませんよ。一気に来ませんが、そこかしこが壊れて、水がじわじわ来て本当にその時の海面と同じになったら、その位まで来るといことなので、やっぱり公共施設についても、上の階に逃げるように小学校とかの上の方の階の開放の仕方とかも考えないといけないなと思っております。

《参加者Cさん》

奥町内会のCと申します。私、地域を活かすということを考えてみたんですけど、つい最近なんですけど、この前の災害の時も私自身、大分長い時間知りませんでした。息子の所へ行ってみにゃあいけんぞと思うて降りてきてみたら、マルナカの辺が浸水して。こういうことを連絡する放送設備をわが町内は、が一が一言って、うまく出ない場合もあるんですけど、そういうことも考えてみた時に、これは地域力を活かすという前に、地域で繋がる、それを考えていかにゃあいけんかなあということ、私自身は最近ものすごく考えております。自分の住んでいる奥町内会、西浦の学校の直ぐ近所なんですけど、町内会は東、中、西に分かれていて、中の所に住んでいるんですけど、29軒ある中、私より高齢者が29軒の中、18軒あるわけです。この前の放送なんかで連絡しても、多分聞こえてない。だから、どうすりゃあいいんじやろうかと、いう様なことを町内の方々と、皆、役員を中心に考えて下さった時に、やっぱり、年寄りの見守り隊を組織せにゃあいけんなどということで、私らの年齢を中心に、自分らより上の人たちを6人ずつ位担当して、声掛けをする。声掛けだけじゃなくて「元気じゃなあ、今日はええ天気じゃなあ」と、洗濯物が何時までも仕舞ってないだとか、夜になっても電気をつけずにおるだとか、ちょっと一言声

を掛けてみる。こういうようなことを展開していかないと、地域力を活かすも何も、繋がりが基本的にないと困るなあということで、そういうことも考えております。

それから、道が狭いもんだから、防火の心配を皆さんしているように思います。冬の間は、火事に気をつけよう、火を出さんようにしようというのが、我々町内会の皆の意識の中にあるんじゃないかなと思っております。そういうことが1点。

もう1点は、地域で繋がるということを考えてみた時に、老人ばかり非常に多いわけですね。私らの上の年代は、私も良く判ります。10歳ぐらい下も良く判ります。ところが、そこから下になったら、何処のあの人は息子さんじゃろうか、あの人は何処の子なんじゃろうかというのは判りません。これはいけんぞと思って。朝水遣りする時に、小学生が通って行くわけですね。この子らに、僕らが大きくなったら面倒見てもらわにやいけんこともあるかなと思って、挨拶をしっかりせにやあいけんと思ひまして、挨拶を出来るだけ交わすようにしています。おはよう。今日はなんかあるんかと言ったり、ええ天気かなあ。運動会の練習があるんかと、挨拶だけでなしに、一声掛ける様にしてるんですが、暗澹たる気持ちに最初の1ヶ月間位はなりました。どういうことかと言いますと、声を掛けても返事が返ってこないんです。学校へ行って、私も教職員上がりだから、学校の校長さんの所へ行って、子どもが挨拶せんなあと言ったら、ごめんなさいということでした。どういうことかと言うと、最近是不審者が出たりするから、よう知つとる者には挨拶しなさいよ、知らん者には挨拶したらいけんぞと。せい、するな、という指導をしとるもんだから、そうかなあということがわかりました。本当に挨拶してもらうのに、1ヶ月以上かかりましたねえ。それで、民生委員さんなんかには、毎朝、声を掛けられて交通指導されたりしようるわけですが、ほんまじゃ、4割ぐらいの子しか、声を掛けてくれんと、返ってこんというようなことがあって、そういうようなところから、繋がり、色んな事をやっていかないといけないんじゃないかなということに特に思っております。そういう点で、教育長さんですが、返事をようしますね。教育長さん、はいと必ず言って、それから朝の挨拶運動の時に、校門に立たれて色々な学校へ行かれて、挨拶をされているように見えます。ああいうふうなことが、もっともっと、色んな場所で響きあう、挨拶が響きあう、そういうふうな地域づくりが出来ていったらいいかなあと思っております。

《市長》

大変大切なことを言って頂きまして、有難うございます。

地域の安全は、市も一生懸命頑張りますけれども、市だけで出来るわけではないですし、地域の皆さんでお互いに声を掛け合って守って頂く、その前提には、その為には地域の子供さんたちのことを日頃から知っている、声を掛けるということが非常に大事なことだと思います。前よりは、段々挨拶も良くなってきていると思うんですが、私も教育長に子どもさんの挨拶運動、地域の皆さんたちが立って、見送りをしてくださるんで、是非とも大きな声で挨拶をするようにということを、学校で勉強よりも何よりも生活の基本だと思ひますので、しっかりと身に付けて貰える様今後ともやっていきたいと思っております。

それから最初に言っていただきました今回もそうだったんですけども、市の方でもスピーカーを付けてまして、この連島地区は避難勧告は出なかったんですけども、例えば郷内地区では今回付けたスピーカーが役に立ったんですが、今回は私も反省点が多かったんですが、地域によっては、付けても雨風が降ったら聞こえないんです。そういう場合には、

なるべく早めにそれを言うか、もしくは市としてはスピーカーの分だけではなくて、FMくらしきのラジオと提携をしております。FMから常にその災害の情報を出して貰う様にしております。あとケーブルテレビです。KCTさんとかのケーブルテレビで常に文字で出して貰う様にといいことで、色んな方法で情報を提供していきたいと思っているんですが、それを基に地域で皆さんと一緒に対応で動いて頂かないことには、いけないと思いますので、愛育委員さん、民生委員さんをはじめ、地域の中で皆さん役をされている方が多いと思うんですけど、お声掛けをしていただく、そういう環境を作りやすいような町内会、自治会、活動、そういうものがないなあと思っております。なかなか、これをやれば、それが出来るという回答が直ぐ無い様に思うんですが、1つには連島の憩の家を、数ヶ月前にオープンをさせていただいたんですが、その時に市の方で新たな取り組みとして、憩の家だけではなくて子どもさんの集いの広場の部分も一緒に併設をいたしまして、そういう地域の建物で、子どもさんと年配のお年寄りの皆さんが、常日頃からコミュニケーションを、そうしたらお父さん、お母さんの若い世代もいらっしゃいますので、そういう皆さんたちとも会って頂き易い様な、ここが初めてのケースだったんですが、今後、憩の家などについては、そういう考え方を採っていききたいなと思っております。

人口構成で、私のようなものが申し上げるのもなんですが、70歳って非常に若い世代に、これからはなっていると思います。定年が60ですけれども、今の60位の人は大体50位にしか見えないと思うんですね。70歳だったら、10若かったら60位で、じゃあ定年そろそろして、自分の色々な活動にして行こうかという位の年代になってきているんじゃないかと思っておりますので、年配でも皆さん若い方でいらっしゃるので、地域の中で核になっていただきたいなと思っております。どうも有り難うございました。

《参加者Dさん》

2点ほどあるんですが、まずこの防災については、どうしても逃げる場所を決めるとか、そういうことはいいと思うんですけれども、電力をはじめとするユーティリティをどう確保するか、これは非常に今回の東北のことで、大きな教訓になったと思うんですが、これはやっぱり予め、ディーゼル発電をどう陸に配置しておくとか、そういうことも必要じゃないかという感じがいたします。もう1点ですが、テーマの所に地域力を活かすまちづくりというふうに書いてあるんですけれど、この活かすとまちづくりの間に「魅力ある」というのを是非付けて頂きたいんです。私もこちらに来てもう40年になるんですけれど、ここが好きで好きでたまらなくて、関東から来たんですけれど、ここに骨を埋める気でおりますし、そういう大好きな町になりました。その魅力というのは、1つには先ほどからお聞きしますと、ハードの面だとか、そういうことは大概整備されるんですね。建屋を造る、公園を造る、あるいはコミュニケーションというのは、場が無ければコミュニケーションができないというお話も先ほど沢山ありましたけれど、町の中で声を掛けたり、挨拶をしたりということも大切なんですけど、もう1つソフト面ですね。これをどういうふうに充実させていくか、ここに私は行政の果たす役割があるんじゃないかと思っております。で、どう言うことかと言いますと、先ほど市長がおっしゃいました憩の家ですか、ここで老人と子どもたちが、交流できればいいね、コミュニケーション、勿論そうですね。しかしながら、今、それをコーディネートするといいましょうか、そういう役割がどうしても

必要になってきているんじゃないかと思うんです。私は年寄りですから、年寄りは何でも、そこら辺にいる人と話をしますけれど、そういうコーディネイトをする専門の、カウンセラーという専門の方がいらっしゃいますけれど、町内会で困りごとを相談する。そういった人たちを育成する、これがソフトの面で非常に強い部分じゃないかと思うんです。教育もそうです。学校教育もそうです。でも、学校教育とともに、地域教育と言いますか、地域における先ほど言った挨拶運動だとか、ボランティアだとか、そこら辺で行政が果たすべき役割について、市長はどのようなふうにお考えでしょうか。この2点、お伺いしたいと思います。

《市長》

はい、有難うございました。停電対策については、今のところ市の本庁舎は停電非常用電源装置はありますけれど、市内全体が停電しないかどうかということになると、中国電力さんの停電対策に今のところ、頼るしかないわけでございます。大変な災害が起こった時には、市の核となる施設で、避難場所などになって、そこに大変な災害が起こったら直ぐ自衛隊に来てもらいたいと私は思っているんですけど、電力が自分でなくても自己完結で、大きなライトを焚いて避難所になるようなものも、避難場所の中に作って下さるとは思っているんですが、それだけではなくて停電になった時の為の整備をいっぺんには出来ませんけれども、それぞれの蓄電池装置、停電になってガソリンがなくなったら、何も出来なくなったらという面では、1つ進めておりますのが、太陽光発電の設備の推進を、私が市長になりましてから非常にいたしております。1つには環境のこともあるんですが、もう1つにはおっしゃるように停電が起こった時に自分で貯めておけますので、ある程度もちますし、太陽があつたらしばらくいけると思います。これまで大体1年間に200件位の補助件数だったんですけど、今毎年1,000件ほど補助をしております。今年は特に東日本のことで非常に関心が高まりましたので、1,500件まで補助をすることにいたしました。ちょっとお伺いしてみたいんですが、皆さんの中で太陽光発電を家の方に付けられている方は、どの位いらっしゃるでしょうか。有難うございます。まだ数パーセントでございます。有難うございます。もっと、進めなければいけないと思いましたが、なかなか、昔からある、以前からずっと住まわれているお家は重さの関係で、なかなか設計してみても付けにくいというのが、あるみたいでございまして、新築の住宅で屋根に付いているのは珍しくなくなってきたんですが、今、メーカーに市から、昔からの旧家で重さがそんなに無くてもできるような太陽光のパネルをなるべく早く商品化してもらいたいということを言っております。水島の企業さんの中でも、今、実は何社か研究で開発されておりますので、そういうのが出てくるのにあまり時間がかからないんじゃないかと思っておりますが、是非とも進めていきたいと思っております。計画的に、蓄電池、それから太陽光発電など、進めていきたいと思っております。

それから、魅力あるまちづくりの中で、ソフトの面、おっしゃったように非常に大変な重要で且つ難しいわけでございます。以前、NHKのテレビでご近所のお困りごと解決隊というのがあったと思います。その時も、自分の町内をこういうふうに一生涯懸命取り組んでいると。でも、こういう問題が発生して、何かなかなか解決が出来ないというのが出たら、一つには、そのNHKの方がコーディネーターの方を、アドバイスの人を連れてこられて、何か1ヶ月指導されて、随分良くなって来るというのがありましたので、何かそう

ことが出来ないものだろうかあとと思っています。その方たちが全部、東京とか、大きな所から来ればいいというもんじゃなくて、確かNHKのご近所のお困りごとの番組でも、1番最終的な結論は、同じ市の中でも色々既にいい方法でやって成功されている所があると、それを他の所の町内でも判りやすいようにして、来てもらってアドバイスしてもらったら、随分良くなったという所もあったと思いますので、そういうようなことができないかなと考えております。まだ、現実にはなっていないんですが、各町内の色んな取り組んで頂いて良かったことを、発表して頂いたり、ホームページで載せて頂いたりというのは、徐々に進めておりますけれども、もっと取り組みをしていきたいなと思っています。どうも有難うございました。

《参加者Eさん》

神亀学区のEです。水害、浸水してから9月の3日でしたか、それから3日、4日経って市長さんと大橋市議が来て、私から説明したんですけども、さっきの説明では27年度に遊水池のポンプを据えると言ったでしょう。それまでは現状のままですか。この間から市長さん、水島支所さんの所や、産業課の所へ行って話をするんですけど、各町内であつこが悪い、ここが悪いと言って、お願いしようんですけど。

《市長》

嵩上げとかの分ですか。例えば。

《参加者Eさん》

そうそう。汐入川の方は町内の西側になるんですけど、嵩上げをしてもろうたんですけど、東の方の水路を色々話をしようんですけど、1つの町内だけしたら、他所の町内も「うちも、うちも」と言い出したら、大変なことじゃから、とりあえず遊水池のポンプが先決問題で、あれをしたら全部解決するんじゃないかという話になっとなです。これも27年度までほっとかしたら、どがんなるじゃろうか、思うて。ここに3日の浸水した写真があるんですけど。いつぞや大橋市議と一緒に来られたわな。3日の日の3時ごろ、市議が来てそれで車を置いて出られんようになって帰って、あの時「これが私の車」と言うたでしょう。本当に危機一髪じゃったんだから。あのまま、これから27年度までほっとかしたら、大変なんですけどなあ。

《市長》

あと何年もありますもんねえ。このポンプが勿論抜本的な根本的な解決だとは思っております。

《参加者Eさん》

あの橋でも、5年先、5年先と言い出してから、5年経つとるですから、何年度に完成すると言うてくれた方がいいんです。5年先、5年先言うて、もう本当に。今、遊水池のポンプは27年度とはっきり言われましたな。この前も言よんですけど、橋を掛けるのに5年先、あそこのポンプを据えるのに、そこだけ掘り下げて据えるわけにはいかんのかなあと云よんです。

《市長》

ポンプだけ先にですか。ポンプは市と県の事業、橋は国の事業になっておりますので、一応分かれています、事業としては。この部分を掘り下げて出しますから、工事がある程度一体的にはなるんですけど、市としてはポンプの設置の方を、なるべく早く進めて、それでポンプが出来て稼働ができるんだったら、橋が27とか東日本の影響で1年延びて8とかになったら、ポンプだけでも出来たら、稼働できるようにと思っております。

《参加者Eさん》

話を聞くと、市長さんははっきり言わりようけど、県とか市とか言うて、なすくりあいにしか聞こえんのじゃ。誰に頼っていけば一番いいのか判らん。

《市長》

最近は、そんなことはあんまり無いと思うんですが。

《参加者Eさん》

この3日に浸かった時に、他の町内へ行ったら、ポンプが故障しとったんじゃろうがと言うから、あらから据えとらんから故障もいかんわと言うたんじゃ。他の町内は床上浸水が増えて畳なんか物凄く出しとる。それで腰が痛うなって夜中に救急車で病院に行った人もおるんじゃ。これで3年も4年も5年も待つ言うたら、生きとる間は本当にいい目はない。こがな悲惨な所は無い。大変ですよ。市長さんにもお願いしたんじゃ。市長さんが産業課や建設の方に連れて歩いてくれたんじゃ。それは、有り難かった。ようしてくれたんですけど言うことだけ言わなんだら、夜眠れんよ。2回目の雨が降った時には水門まで行って見たんよ。

《市長》

ほんとにすみません。有る水門は、有るポンプは一生懸命動いてくれていました。ただ、それでは足りなかったということだと思います。それと、この遊水池が浅くなってきておりますので、貯める機能が少なくなっているのも大きな原因だと思います。ポンプを毎秒20トンから30トンだと、1.5倍だけしかないように思うんですが、これを浚渫すればかなり違ってくると思っておりますので、この浚渫は絶対しないといけないと思っております。ポンプが出来ましたら、なるべく早くポンプだけでも稼働してもらえる方法がないかということ相談します。言って頂いた様に、原始的なところは児島湖の方も多いです。今回の時も、倉敷の方の児島湖の方は、水門が今開いているかどうか、普通だったらホームページなんかでぱっと直ぐ判りそうじゃないですか、それが判らないんです。うちの農林から県に問い合わせをして、今水門開いてますかとか、それから何cm位まで水が来てますかというのを、今回もいちいち尋ねたんです。あまりにもちょっと昔のような感じなので、それも解決してもらわないといけないと思っておりますが、途中、途中にある水門、樋門の皆さんも一生懸命頑張ってくださいっているので、なかなか一番下の所は判らないので、上へ上へきても判らないような状況になっております。とにかくポンプを急ぎます。

《参加者Fさん》

1点だけ確認したいです。地域力を活かすまちづくりということで。神亀のFと言います。私の学区の中に亀島山というのがあったんですけど、亀島山には私らは、毎朝、老人会で体操をした後に月に1回、皆さんで登りましょうということで、登って行くんですけど、その山が出来た当初は大変、花と緑の山ということで、大変綺麗だったんですけど、最近は雑草、雑木がかなり生茂って、そこは避難場所でもありますし、山全体の整備と言うんですか、もう少し何とかならないか。それは地域のボランティアとか、そういった方でも出来るんですけど、そういうことを進めていかなければならないと思う。

それと、あの山の下に戦争遺跡と言うんですか、亀島山の飛行場跡とって、私もいっぺんだけ見学させて貰ったんですが、ああいった所は、岡山県には、あそこしかないと思うんです。後世に受け継いでいくと言うんですか、皆さんに知っていただく為に、もっと開放して皆さんが、いつでも見れると言うんですかね、そういう形にしていきたいなど。今は門が閉まっているし、入り口の方も大きな石がごろごろして、中に入っていくには長靴かなんか履いて行かないと入って行けないような状態なんですね。戦争遺跡を後世に残していく重要なものじゃないかと私は思うんです。市の方でもあの辺を整備していただければ、幸いと思うんですけど。

《市長》

亀島山は、この地域の中の神亀の中心と言いますか大きな場所ですし、確かに最近は花と緑の公園というか、草の生茂っている公園になっていると。最近登ってないんですけども、皆さん方から、結構草がボウボウ生えておりますかね。いっぺんには出来ないかとは思いますが、地域の皆さんのご協力も頂いて、少しでも改善するようにしたいと思います。1つには今、言って頂いた戦争遺跡のこともあったり、非常に眺めがいい所ですので、観光客の方もいらっしゃったり、地域の皆さんで、観光の方がいらっしゃったら、眺めがいいんで連れて行かれる方も多いと伺っておりますので、何とか手入れをしたいと思えます。また色々ご相談させてください。有難うございます。

遺跡の方は、なかなか中を全部開けて開放というのは、構造上で難しいようにも聞いておるんですけど、今言って頂いた様に、戦争の遺跡という面では非常に貴重なものだと思っておりますので、市としても何か、顕彰といいますか、もっと色々人に知って貰える様な方策が出来ないものかという思いでおります。花と緑の公園に、少しでも近づくように頑張ります。

《参加者Gさん》

老松のGと申します。

先ほど、イトーヨーカドーさんとアウトレットの店が出て駅前、倉敷の駅前には賑やかに観光客の方が来られると思うんですけど、あまり夜フラフラしないんですけど、沢山の観光客の方が来られて、駅の北口は非常に賑やかになるんですけど、折角そこへ来た人は、多分美観地区の方に足を伸ばされると思うんですけど、夜がちょっと暗いんじゃないかと思うんですよ。私は地元の人間だから、道も良く判るんですけど、観光客の人が来て、夜、

美観地区の方を見ると、風情もあるし結構いいんですけど、行き帰りはちょっと物騒な暗い所も結構あるんで、市としてチェックして、評判を落とさない様にして頂きたい。

《市長》

倉敷の駅前のことについて言って頂きまして、倉敷の駅前は高架のこともあるんで、これまで手が付けにくかったんですけども、高架をすと言っても、高架はポンプより時間がかかりますので、そう簡単には、5年とかでは出来ないんで、今のままでは私もちょっとまずいなと思っておりまして、駅前から南に、北の方はかなり良くなってきていると思うんですが、南に繋がる道沿いの所をもうちょっと手を加えないといけないんじゃないかと思っております。その時には、言って頂いた様なランプとか、そういう面もしっかりチェックしたいと思えます。

《参加者Hさん》

大崎地区のHと申します。西之浦地区全体で、ちょっとまとまった遊園地が無いわけなんです。他所の地区を見ると、中央とか神田とか区画整理とかいうことで、まとまった遊園地があるんですけど、老人会が例えばグランドゴルフをすと言っても、正式なコートが採れる遊園地もないし、広場もありません。西浦小学校があるにはあるんですが、これはスポーツ少年団の野球ですね、これを土日はやっとならるんです。その子どもが一生懸命やっとならるのを、止めて貸せえというのは、ちょっとかわいそうなんで、危機管理上も考えてちょっとした広場があればと思うんですが、遊園地がね。そういうのを考えていただければ、昔はそういうことを先頭に立って言ってくれる世話役さんがおったんですけど、最近はそのような方がいないんです。ややこしいことは言いたくないと、慎重深いということかもしれませんが、先頭切って言う人がいないという場合に対して、昔で言う目安箱ですか、こうしてほしいとか、まとまって言わないと、出来んのではないか。こういうものが欲しいという要望がただの1件でも2件でもあれば、市で検討して必要なことは、考慮に入れていただけたらと思えます。

《市長》

地区毎の公園とか遊園地の整備については、ある程度、計画的にやっていますので、地区のことについてはまた後で検討させて頂きたいと思うんですけども、今言って下さった様に、基本は地区で要望して下さるということには、なっているんです。ただ、梶房さんが言われたように市の方への提案といいますか、そういうものは、今日、担当しておりますけど、市民広聴課が受付をいたします。それは一人から、もしくは二人から来られる場合もあって、検討に進むことが出来る場合も、出来ない場合も勿論あるんですけども、地域の皆さんから、お声が聞こえてくるというのは非常に重要なことだと思っております。ですので、地区の公園、遊園地の設置、それだけではないんですけども、その為にも、この市民広聴課がありまして、最近では目安箱じゃなくてインターネットでメールでのというのが多くなっているんですけども、そういうものとかに入れていただいて、公園だったら公園課の方から、どういうことですかとお伺いして、例えば今の基準はこうなってますとか、という会話をする機会にもなりますので、是非とも多くの皆さんから声を上げて頂き

たいなと思っております。実際に何か物を造る場合には、町内やそれからその適地について、周りの皆様とご相談しないといけないわけですが、やっぱりその端緒となるものが、今言っておき下された地域で皆で集まる場所が無い、例えば西浦小学校が使い難いようなことになっているとか、それが改良出来るかも知れませんが、もしくは違う場所が必要になるかも知れませんが、そういうことを教えて頂くというのが、まず、最初だと思っております。公園の方にも確認をして、考え方については、今ご返事ができる状況ではないんですが、お話をさせていただきたいと思っております。

日曜日の大変ご飯直前の時間で、お忙しいところ、本当に有難うございました。やっぱり安全、安心、それからまちづくりのことが非常に重要なことだと再度認識いたしましたので、勿論支所長もおりますし、本庁の方の担当部署もおります。それと地元の市議会の先生方もいらっしゃいますので、色んな観点でご相談を掛けていただければ、市としてもお声が上がってきて、検討をさせて頂き易くなりますので、今日の貴重な機会、それから今後も色々な機会を頂いて、良いまちになっていくように頑張りたいと思っております。今日は皆さん、本当に有難うございました。